

2015年(平成27年)

6/18(木)

Thursday

きよつこの

発言

1945年8月10日早朝、米陸軍第507戦闘機群465中隊所属のアーリーグラハム少尉は戦闘爆撃機P47サンダーボルトに搭乗し、沖縄県伊江島の基地を攻撃しました。第1目標は7月1日の大空襲で焼け残った熊本市。それを終えてから、第2の目標として玉名(大浜)飛行場を攻撃しました。

午前11時ごろ、待ち構えてい

高谷 和生

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク事務局長

熊本大空襲

た高瀬川鉄橋を守備する陸軍高射砲第132連隊と陸軍の高射機関砲部隊がグラハム機を捉えました。機体は玉名市永徳寺の河原に墜落し、少尉は即死しました。その後、遺体は機体から引きずり出され、米兵への憎しみに燃える住民らによって、全国いたるところであった遺体への暴行が起きました。

熊本市史等の記録でも、8月10日の空襲にB29爆撃機が参加したとされています。7月1日の大空襲は確かにサイパン基地を飛び立ったB29による攻撃ですが、近年日本側の調査が進み、8月10日の空襲に参加したのは沖縄の陸軍極東航空軍だということが分かってきました。

2015.6.18